

平成 2019 年度 第 42 回神奈川県体操競技中学生選手権大会
確 認 事 項

2019.03.23

神奈川県体操協会

(1) 登録について

参加者は、必ず日本体操協会及び、神奈川県体操協会に登録をする。

(2) 引率者並びに監督、コーチについて

- ① 引率は参加選手の所属長が認めた(所属長の公印)成人であることし、引率者は選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。
- ② 監督、コーチは所属長が認める指導者とする。
- ③ 引率者・監督は大会の始めから終わりまで会場にとどまること。
- ④ 各班のチームリーダーは、プログラムの一番上に記載された選手の監督があたる。
ただし、関係監督相互の協議により、そのうちの1名があたっても良いこととする。
先生が審判などでチームに付けない場合は、選手、マネージャーも可とする
- ⑤ コーチは所属をまたがっても可とし、競技中も競技フローに降りて選手の補助等を行っても良い。

(3) 競技中の種目ごとの始まりと終わりの挨拶について

各種目のはじめの挨拶は、進行係りの放送での指示で審判員の前で整列して行う。終了の挨拶は種目ごとに競技終了時に自席の前に整列し、器具に向かって行う。(中学生の試合だが時間短縮のため)

(4) エバーマット・着地追加マット(ピタリマット)について

①エバーマットについて

原則使用禁止。但し、練習時の使用は認める。(演技前のアップ時は不可)

②着地追加マット

- ・女子はゆか以外の種目で必ず使用する。
- ・男子はつり輪、跳馬、鉄棒で必ず使用する。演技中の移動は不可。着地の目的に使用する。
鉄棒は2枚使用(2枚重ねは不可)

(5) 跳馬の跳躍版(ロイター板)について

ばねの数が3・3・2と3・1・2の2枚を用意する。

※2・1・2を認める。使用後は3・1・2に戻すこと。

(6) 補助者について

男子は、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒に補助者をつけることができる。

女子は、段違い平行棒に補助者をつけることができる。

(7) 競技開始前のアップ時間について

平行棒と段違い平行棒のアップ時間は1人50秒とする。アップ開始の計測は、前アップ者の終了と同時に行う。

そのほかの種目のアップ時間は1人30秒とする。

女子跳馬は1人2本とする

(8) 成績順位及び表彰について

①同点の場合には、同順位とする。

②次の場合には成績順位及び表彰の対象としない。

ア) 選手が演技すべき種目の全部を演技しなかった場合。但し、不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。

(9) 女子レオタードについて

ノースリーブを認めるが、極端に細い（5 cm以下）肩ひもは不可。

(10) 女子のゆか伴奏音楽について

デッキは各所属が用意すること。伴奏音楽はMD、CD、携帯型プレーヤーなどを使用する。

秦野体育館設置のプレーヤーは使えません。スピーカーのみ用意しますので、プレーヤーを用意する

(11) 得点記録票兼オーダー用紙について

得点記録票兼オーダー用紙を、競技順序の各班各組の最初に記載されている選手・監督に配布しますので、試技順を記入して、種目開始の挨拶の前に審判員に提出すること。

演技後に得点記録表は配布されないため、女子のDスコアは演技後に審判席で出される掲示を確認する。

(12) 写真・ビデオ撮影について（別紙参照）

(13) 競技終了後の器具の片づけ、清掃について

競技に参加した選手、監督、コーチ・引率者は必ず参加してください。

応援に来られました保護者の方々も、できるだけ参加してください。

選手は必ず雑巾を一枚以上持参してください

(14) 補助役員について（朝の受付後にその場で全体説明会をしますので全員参加してください）

①男女各種目に2名の得点掲示と、集票の生徒が必要です。

②記録役員（引率の大人）は、審判員の横の席に座り、得点計算、得点記録記載を行います。引率者の中から任意に決めます。会場記録に入れない引率者はお申し出ください。別の係りとします。

③男子及び、女子1班の得点掲示と集票の生徒16名（中学生以上）をあらかじめ決めておきます。

④女子2、3班の得点掲示と集票の生徒は競技が終わった選手に依頼します。

(15) 前日会場練習について

単独開催のため、前日練習はありません